

患者の皆様へ

2018年9月11日

現在、泌尿器科では、「去勢抵抗性前立腺癌に対する新規アンドロゲン剤治療効果と予後予測因子の解析」に関する研究を行っています。去勢抵抗性前立腺癌の診断された方を対象に、診療情報などを利用させていただきます。この研究にご協力いただいた場合でも、患者さんの個人情報公開されることはありません。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

去勢抵抗性前立腺癌に対する新規アンドロゲン剤治療効果と予後予測因子の解析

2. 研究の意義・目的

現在、去勢抵抗性前立腺癌に対する治療法は依然として確立しておりません。近年、アピラテロン、エンザルタミドといった新規薬剤が厚生労働省より認可を受け使用されるようになっております。本研究では上記薬剤を使用している、または使用していた方の既存のデータを用い、治療効果や治療開始時期のデータ解析を行い、適正な時期、容量の同定を目的としております。

3. 研究の方法

2000年1月から2018年12月までに得られた去勢抵抗性前立腺癌の方の臨床データ（年齢、性別、検体データ）を対象といたします。データを解析することで使用の適正性や効果について検討いたします。データの解析・保管は千葉大学大学院医学研究院泌尿器科にて行われ、データは個人を特定できないように暗号化された識別番号で扱います。

4. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院泌尿器科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院泌尿器科 043(222)7171

医師 坂本 信一